

インフラDX基盤システム(次期統合型GIS) の構築に関する情報提供依頼

令和 8 年 1 月 19 日
名古屋市緑政土木局技術指導課

1 背景

平成13年度に国土交通省が公共事業のIT化の一環として「建設CALS」を推進したことに伴い、当局でも既に電子化されていた「積算」「入札・契約」「施工管理」「電子納品」までの一連の業務についてシステム化の検討を行い、平成20年度より建設CALSシステム（以下「現行システム」という。）の運用を開始しました。現行システムは、電子成果を保管する電子納品システム、統合型GIS機能を持つ維持管理支援システム、そのサブシステム（公園・ポンプ・街路樹・道路舗装の維持管理システム）から構成されており、平成20年度に運用を開始し、機能を追加するなど改修を続けながら現在は多くのシステムがMicrosoft EdgeのInternet Explorerモードで運用しています。

しかしながら、令和11年にEdgeのIEモードのサポートが終了するため、Edge対応のシステム改修が不可欠となります。また、緑政土木局では「名古屋市緑政土木局DX推進計画」を定め、スマートかつ安全で持続可能な「道路」「河川」「公園」等のインフラを提供し続けることを目指しており、それらを実現するための新たなシステムが求められている状況です。

2 目的

現在、当局では、上記を受け次期建設CALSシステムとして「インフラDX基盤システム」についての調査・検討を進めています。これは単なるシステム更新ではなく、局内の情報を統合型GISに集約し、様々な情報を組み合わせた統計・分析を可能とすることで、局内のDX推進に資することを目的としています。

本情報提供依頼(RFI)は、本市が想定するシステム要件や懸念事項に対する貴社パッケージ・サービスの対応状況や開発、保守、運用等の費用等を把握することに加え、パッケージの標準機能の活用を前提とした名古屋市要件の実現性・妥当性・経済性の検証を行うことを目的としています。

つきましては、本市の取組に対するご協力をお願い申し上げます。

3 前提事項等

3.1 配布資料

情報を提供していただくにあたり、必要となる条件等を以下の資料に記載しています。

- (1) 情報提供依頼書(本資料)
- (2) 別紙1_システム整備方針
- (3) 様式1_会社情報
- (4) 様式2_費用見積書
- (5) 様式3_機能要件(案)
- (6) 様式4_連携一覧

- (7) 様式5_帳票要件（案）
- (8) 様式6_非機能要件（案）
- (9) 様式7_運用委託一覧
- (10) 様式8_質問事項一覧
- (11) 様式9_質問票
- (12) 様式10_デモ実施調整シート

※(2)～(10)及び(12)は参加表明された事業者のみに提供します。

3.2 『別紙1_システム整備方針』について

『別紙1_システム整備方針』は、現在の本市の業務やシステムの状況及び現時点での想定する次期システムの再構築方針等を整理したものです。本資料をご確認のうえ、「4. 情報提供依頼事項」のご対応をお願いいたします。

3.3 再構築の範囲

本RFIにおける概算見積の対象範囲（再構築のスコープ）は、以下のとおりです。

- ・維持管理支援システム（統合型GIS）
- ・公園管理システム
- ・街路樹維持管理台帳システム
- ・舗装維持補修支援システム
- ・各システムの環境構築（クラウド環境の利用を想定）及びクラウド側のネットワーク設定等
- ・各システムの現行システムからのデータ移行及び必要なデータクレンジング

以下は調達対象外と想定しています。

- ・職員がシステムを利用するための回線調達
- ・職員の利用端末及びプリンタ

【現行システム全体像】(別紙1_システム整備方針より)

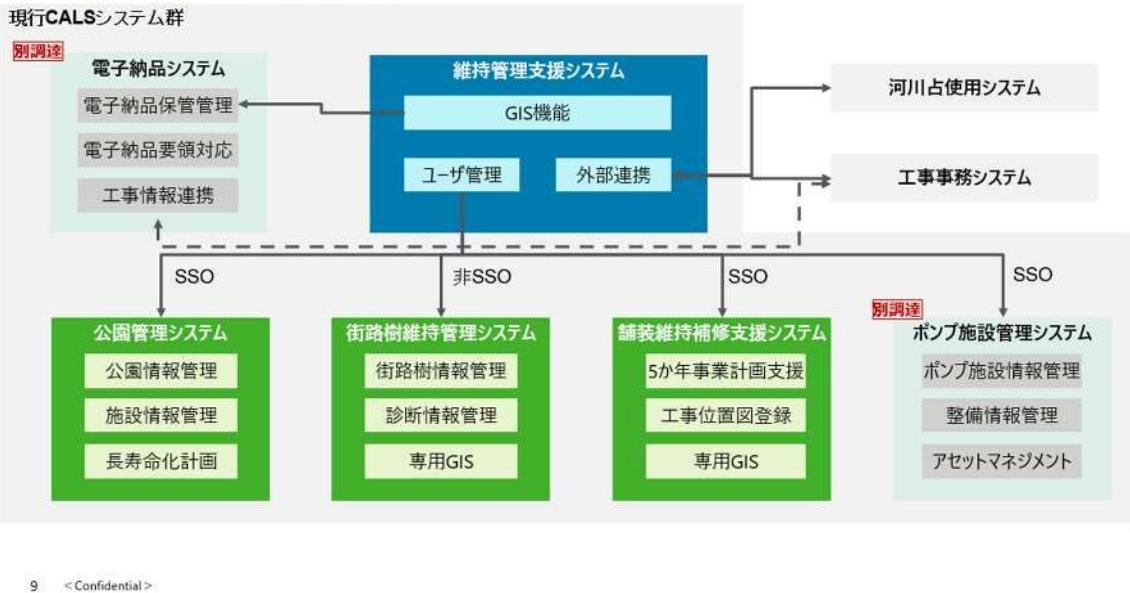
2. 現状分析

2.1. 現行システムの全体像

FOR DISCUSSION
DRAFT
PURPOSES ONLY

現行システムの全体像は以下のとおりで、現状建設CALSシステム内で密に連携しているほか、工事事務システムと設計書番号等に関する連携を実施しています

本業務の対象範囲（現行システム全体像）



9 <Confidential>

【各現行システムの概要】(別紙1_システム整備方針より)

2. 現状分析

2.2. 現行システム利用業務の概要

FOR DISCUSSION
DRAFT
PURPOSES ONLY

建設CALSの各システムの機能やシステム所管部署は以下のとおりです。

現行システム利用業務の概要

- システム名 -	- システム機能/業務概要 -	- システム所管部署 -
電子納品システム	<ul style="list-style-type: none"> 工事等の成果品（図面等）を事業者が市に対してオンラインで納品できるシステム 市では成果品を本システムで受領、チェック、成果品登録、管理、閲覧等が可能 <p>※本業務とは別で新システムを調達する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 技術指導課
維持管理支援システム	<ul style="list-style-type: none"> 工事等の位置情報（位置図）を登録するGISシステム 各サブシステム以外にも防災に関する情報等が登録されている 	<ul style="list-style-type: none"> 技術指導課
各サブシステム	<ul style="list-style-type: none"> 市で保有する公園の施設情報・公園情報を管理するシステム 長寿命化計画は長寿命化プログラム(LCC)で出力している 	<ul style="list-style-type: none"> 緑地管理課 緑地維持課
公園管理システム		
街路樹維持管理台帳システム	<ul style="list-style-type: none"> 市で保有する街路樹の情報を管理するシステム 専用GISで各街路樹を位置情報を含めて管理している 	<ul style="list-style-type: none"> 緑地維持課
舗装維持補修支援システム	<ul style="list-style-type: none"> 市で保有する幹線道路の路面性状等の情報を管理するシステム 専用GISで各幹線道路を舗装した際の概算費用が算出可能 	<ul style="list-style-type: none"> 道路維持課
ポンプ施設管理システム	<ul style="list-style-type: none"> 市で保有するポンプ施設の情報を管理するシステム <p>※本業務とは別で新システムを調達する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 河川工務課 ポンプ施設管理事務所

10 <Confidential>

3.4 次期システム構想について

次期システムの構築にあたり、下記の通り 2 案の構想を検討しております。これに伴い、2 種類の機能要件に基づき RFI (情報提供依頼) を実施いたします。RFI の結果を踏まえ、今後のシステム構成を決定いたします。

参加表明された事業者には、以下 2 パターンの回答様式を提供しますので、貴社で対応可能な方式に関してご回答ください。なお、両パターンにご回答可能な事業者は両パターンに対してご回答ください。

構想名称	説明
① 統合型 GIS 一体型	各サブシステム機能を統合型 GIS 上で実現する。システム全体で单一のデータベースを利用するため、ユーザ情報は一元管理され、機能・業務間のデータ連携はデータベース内で実施可能。
② サブシステム疎結合型	各サブシステムと統合型 GIS を別システムとして構築し、それらを API 連携等で連携させる。ユーザ管理はそれぞれのシステムで実施する必要がある。 <u>※提供できないサブシステムがある場合は、そのサブシステムに関する機能・帳票・連携・費用見積等に関する回答は不要ですが、システム構成概要図等で提供できるシステムを明確化してください。</u>

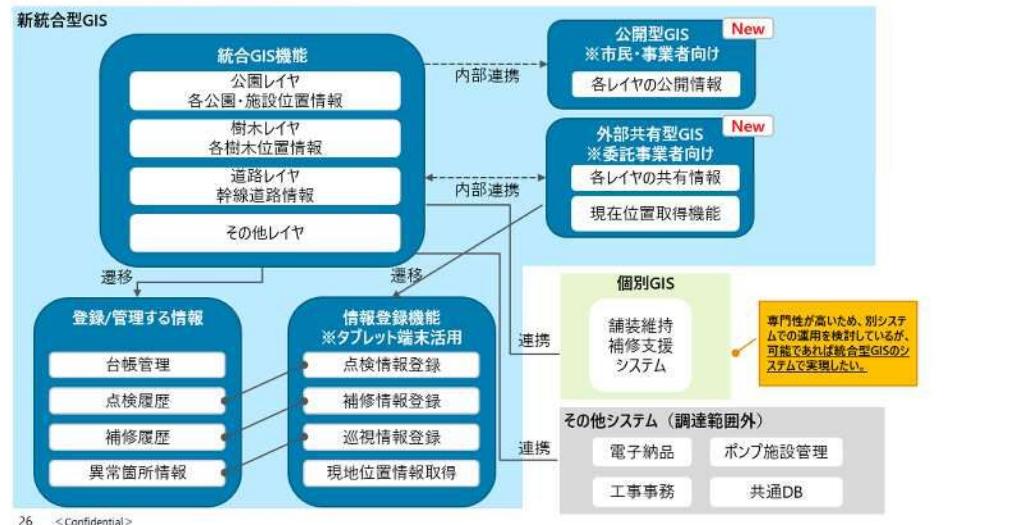
- ① 統合型 GIS 一体型の場合、統合型 GIS 内で、現行各サブシステムで運用している台帳管理機能や点検・補修履歴を管理することを想定しています。舗装維持管理業務も可能であれば同システムで運用したいですが、専門性が高いため個別 GIS での運用も検討しています。

3. 新システム構築方針

3.1. 新システム全体像

次期システムの構築構想は2つあり、①統合型GIS一体型としては現行サブシステムで保有している機能を統合型GIS上実現することに加え、タブレット端末から職員・委託事業者が点検等の情報を現地で登録することを実現したいと考えています。

次期システムイメージ① (統合型GIS一体型)



- ② サブシステム疎結合の場合は、現行システムと同じように、現行各サブシステムで運用している機能は各サブシステムで運用することを想定しています。なお、どちらのパターンの場合でも、公開型 GIS と外部共有型 GIS は新たに統合型 GIS の機能として実装する想定です。外部共有型 GIS とは現地（巡視・点検等の場所）でタブレット端末等から直接アクセスして、各種情報を登録するための地図情報を提供する GIS 機能を指します。

3. 新システム構築方針

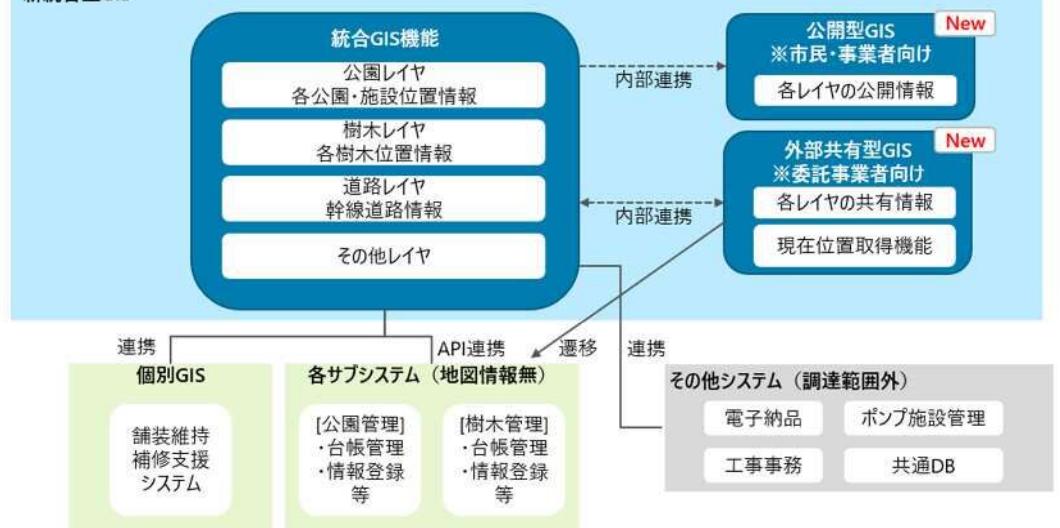
3.1. 新システム全体像

FOR DISCUSSION
DRAFT
PURPOSES ONLY

2つ目の構想として現行の構成と同じく②サブシステム疎結合として、各サブシステムと統合型GISは別システムとして調達することを想定しています。なお、公開型GIS及び外部共有用GISは統合型GISと一体のシステムである想定です。

次期システムイメージ②（サブシステム疎結合型）

新統合型GIS



4 情報提供依頼事項

前述の内容を前提とし、以下について情報提供をお願いします。

各資料の費用は税抜、円単位でご記載ください。

No	情報提供事項	説明	提出様式
1	会社情報	貴社名、担当部署・担当者、連絡先等の基本情報をご提供ください。	様式 1
2	費用見積	新システムの構築・導入に係る概算費用見積をご提示ください。 ※一体型、疎結合型の該当する様式にご回答ください。(両方とも対応可能な場合、両様式にご回答ください)	様式 2
3	機能要件の適合状況	次期システムの要件（案）と貴社パッケージ標準機能の適合状況やカスタマイズの内容等をご回答ください。 ※一体型、疎結合型の該当する様式にご回答ください。(両方とも対応可能な場合、両様式にご回答ください)	様式 3
4	連携の実現可否	連携一覧に対する貴社での対応可否をご回答ください。 ※一体型、疎結合型の該当する様式にご回答ください。(両方とも対応可能な場合、両様式にご回答ください)	様式 4
5	帳票要件の適合状況	帳票要件（案）と貴社パッケージ標準機能の適合状況やカスタマイズの内容等をご回答ください。	様式 5
6	非機能要件の適合状況	非機能要件（案）に対する貴社及び貴社パッケージ製品の適合状況をご回答ください。	様式 6
7	運用保守の体制情報	新システムの運用における保守・サポート体制に関する情報をご回答ください。	様式 7
8	質問事項一覧	本市からの他質問事項についてご回答ください。	様式 8
9	質問票（任意）	貴社から質問がある場合は、本様式をご利用ください。	様式 9

No	情報提供事項	説明	提出様式
10	デモ実施に関する回答	可能であればデモンストレーションを実施し、実際のシステムの動きや機能を確認したいと考えています。デモ実施の対応可否や日程についてご回答ください。	様式 10
11	提案の概要等	<p>任意の様式で構いませんので、以下を記載したものをご提供ください。</p> <p>【必須事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案の概要/特長（貴社の強み等） ・システム構成概要図 ・システム導入スケジュール <p>※契約はR9年7月頃を予定しており、システム稼働は遅くともR10年12月末までに稼働する必要があります。（システム整備方針に記載のとおり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴社製品の概要/特長 <p>※特にどのようにDX推進に資することができるかを記載してください（統合型GISに関しては、3Dモデリングやシミュレーション機能、柔軟なデータ連携機能等を想定）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記製品の他団体における導入実績 <p>【任意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加提案 ・貴社が想定する懸念事項やリスクに対する助言 	任意様式
12	製品情報	貴社が提案するソリューションの製品情報、製品の概要や特長及び製品が具備する機能概要を確認できるパッケージパンフレット、機能一覧、もしくはそれに同等する情報をご提供ください。	任意様式

5 提出手続について

対応窓口・書類提出先

担当課：名古屋市緑政土木局 技術指導課 寺田、向井

住所：〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸 3 丁目 1-1

電話番号：052-972-4074

メール送信先：【To】rd-pckanri@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

【CC】nagoya_ryokusei_dx@tohmatsu.co.jp

(委託事業者：有限責任監査法人トーマツ名古屋事務所)

(1) 提出様式

① 様式

「4. 情報提供依頼事項」の提出様式に従って提出してください。「任意様式」については、様式は特に定めません。原則 A4 サイズ（図表等は A3 サイズ可）の用紙にて提出してください。本市から提示した様式については、PDF ではなく、MS Office 形式のままご提出ください。

② 提出方法

メール等による電子データ

※電子データの形式は Microsoft Word 形式、Excel 形式、PowerPoint 形式及び文字情報を保持した PDF 形式としてください。

(2) 提出等スケジュール

- RFI への参加表明

令和 8 年 2 月 2 日（月）17 時まで

※電子メールの件名は「【貴社名】インフラ DX の RFI 参加表明」としてください。

※本文に会社名、担当者の「電話番号、メールアドレス、担当者名」を記載してください。

- RFI に対する質問受付期限

令和 8 年 2 月 2 日（月）17 時まで

※様式 9_質問票を上記メールアドレス宛てに送付してください。

※電子メールの件名は「【貴社名】インフラ DX の RFI 質問」としてください。

- RFI への回答提出期限

令和 8 年 2 月 27 日（金）17 時まで

(3) 本件に対する質問対応等

上記に記載の期限までに電子メールにて、本市までお送りください。来庁またはお電話による質問に対してはお答えできませんので、ご了承ください。

寄せられたご質問とその回答については個別に電子メールで回答するとともに、本市にて集約し、名古屋市公式ウェブサイト（<https://www.city.nagoya.jp/>）及び調達情報サービス（<https://www.chotatsu.city.nagoya.jp/>）に掲載することもありますのでご了承ください。

6 注意事項

- (1) 本資料による情報提供依頼は、システム導入を検討するための手段であって、将来の発注や契約を約束するものではありません。また、ご提供いただけなかつた事業者について、不利益に扱うこと也没有。
- (2) 提供いただいた情報・資料については、本市職員及び本業務に係る支援業務の受託事業者内で配布等いたしますが、承諾なくその他団体への配布等はいたしません。
- (3) 資料の提供にあたって、既存の提案資料、パンフレット等をご活用いただいて構いません。
- (4) 提供いただいた情報・資料につきましては、返却いたしません。
- (5) 提供いただいた情報・資料に関して、後日問い合わせを行う場合があります。
- (6) 情報提供書類作成にかかる一切の費用については貴社でご負担ください。
- (7) 本件に係る本市からの全ての情報については、第三者に対して開示又は漏えいしないようお願いします。

以上